

月	学習内容	評価規準	観点	評価基準		評価方法
				十分達成A	おおむね達成B	
4 5	【歴史的分野】 明治維新 日清・日露戦争と近代産業	<p>【知識・技能】 明治時代に近代化を進めるためにどのような政治制度の整備・産業の発達・社会変化があったのかを理解し、その知識を身につけています。 近代化を目指す明治時代の日本の変化について年表・資料・地図などから適切に情報を収集しまとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 近代化を目指す明治時代の政治制度の整備・経済・産業の発達について他面的・多角的に考え、その結果を適切に表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 明治時代の学習を通して、近代化を目指す日本の政治・経済・産業の制度の整備や発達について関心をもって意欲的に追求しようとしている。</p>	知識・技能	近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について考えを、外国との関係と関連させて理解し、その知識を身につけている。 近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について外国との関係と関連させて、資料・年表・地図から発展的に読み取り、まとめることができる。	近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について理解し、その知識を身につけている。 近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について考え方、資料・年表・地図から発展的に読み取り、まとめることができる。	ノートワーク定期考査
				近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について考え方、外國との関係と関連させて発展的に考え、その結果を適切に表現することができる。	近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について考え方、その結果を適切に表現することができる。	ノートワーク定期考査
			主体的に学習に取り組む態度	近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について考え方、外國との関係と関連させて意欲的に考え、まとめることができる。	近代化を進める日本の動き（憲法制定・国会開設・産業革命・日清戦争・日露戦争）について考え方、その結果を適切に表現することができる。	授業観察 ノートワーク定期考査
6 7	二つの世界大戦と日本 ・第一次世界大戦	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦前後の世界情勢・大正時代の政治・文化・民主運動の高まりなどを理解し、その知識を身につけている。 第一次世界大戦の背景・大正時代のわが国の政治の動き・民衆運動などについて適切に情報を選択し読み取ったりまとめたりできる。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の影響・大正時代の政治的な動き・文化・民衆運動の高まりについて多面的に考え、その結果を適切に表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦の背景・大正時代の政治的な動き・民衆運動の高まりなどの歴史的事象に対する関心を高め意欲的に追求している。</p>	知識・技能	第一次世界大戦の背景・大正時代の政治的な動きや民衆運動の高まりについて 近代化を進めるわが国の動き・産業の発達・帝国主義などを基本にして理解し、その知識を身につけている。 第一次世界大戦の背景・大正時代の政治的な動きや民衆運動の高まりについて 帝国主義・明治時代からのわが国の動き・変化・原因について資料・年表・地図から発展的に読み取りまとめることができる。	第一次世界大戦の背景・大正時代の政治的な動きや民衆運動の高まりについて理解し、その知識を身につけている。 第一次世界大戦の背景・大正時代の政治的な動きや民衆運動の高まりについて資料・年表・図表から読み取りまとめることができる。	ノートワーク定期考査
				第一次世界大戦の背景・大正時代の政治的な動きや民衆運動の高まりについて帝国主義・近代化を目指すわが国の動き・変化について発展的に考え、表現することができる。	第一次世界大戦・大正時代のわが国の政治的な動きや民衆運動の高まりについて原因・背景を考え、表現することができる。	ノートワーク定期考査
			主体的に学習に取り組む態度	第一次世界大戦の背景・大正時代の政治的な動きや民衆運動の高まりについて欧米諸国・明治時代のわが国の変化・動きを基本にして発展的に考え、まとめることができる。	第一次世界大戦・大正時代の政治的な動きや民衆運動の高まりについて考えまとめることができる。	授業観察 ノートワーク定期考査
7	・第二次世界大戦	【知識・技能】 第二次世界大戦前後の世界情勢・昭和時代のわが国の政治・文化・国民生活などを理解し、その知識を身につけている。 第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動き・大陸進出について	知識・技能	第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きや大陸進出を世界の経済的な変化・動きを基本にして理解し、その知識を習得している。 第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動き	第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きや大陸進出について理解し、その知識を習得している。 第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きや大陸進出について資料・年表。地図から読み取りまと	ノートワーク定期考査

	<p>て適切に情報を選択し資料から読み取ったりまとめたりできる。</p> <p>【思考・判断・表現】 第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動き・大陸進出などについて多面的に考え、その結果を適切に表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きなどの歴史的事象に対する関心を高め意欲的に追求している</p>		や大陸進出を世界的な動きを基本にして資料・年表。地図から発展的に読み取りまとめることができる。	めができる。	
9	<p>【知識・技能】 わが国の民主化・高度経済成長による国民生活の変化・戦後の世界の変化・人権問題について理解し、その知識を身につけている わが国の民主化・高度経済成長・国際社会との関わり・世界における人権問題などについて情報を適切に選択し、資料・図表から読み取ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 わが国の民主化・高度経済成長による国民生活の変化・国際協調の大切さ・世界の人権問題について多面的に考え、その結果を適切に表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 わが国の民主化・高度経済成長による国民生活の変化・国際協調の大切さ・世界の人権問題を意欲的に考えようとしている。</p>	思 判 表	第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きや大陸進出について世界の経済的変化・他国の動きを基本にして発展的に考え、表現ができる。	第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きや大陸進出の原因・背景について考え表現することができる。	ノート ワー ク定期考査
		主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きや大陸進出を世界に経済的な変化・他国の動きを基本にして発展的に考えまとめることができる。	第二次世界大戦の背景・わが国の政治的な動きや大陸進出について考えまとめることができる	授業観察 ノート ワー ク定期考査
		知 識 ・ 技 能	憲法の内容・戦後世界の動き・高度経済成長にともなう国民生活の変化について自分の身の回りの事柄と関連づけて理解し、その知識を身につけている 憲法の内容・戦後世界の動き・高度経済成長について自分の日常生活と関連づけて資料・図表から読み取ることができる。	憲法の内容・戦後世界の動き・高度経済成長にともなう国民生活の変化について自分の身の回りの事柄と関連づけて理解し、その知識を身につけている。 憲法の内容・戦後世界の動き・高度経済成長について自分の日常生活と関連づけて資料・図表から読み取ることができる。	ノート ワー ク定期考査
	<p>【知識・技能】 わが国の民主化・高度経済成長による国民生活の変化・戦後の世界の変化・人権問題について理解し、その知識を身につけている わが国の民主化・高度経済成長・国際社会との関わり・世界における人権問題などについて情報を適切に選択し、資料・図表から読み取ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 わが国の民主化・高度経済成長による国民生活の変化・国際協調の大切さ・世界の人権問題について多面的に考え、その結果を適切に表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 わが国の民主化・高度経済成長による国民生活の変化・国際協調の大切さ・世界の人権問題を意欲的に考えようとしている。</p>	思 判 表	憲法の内容・戦後の世界・高度経済成長に関して 自分の日常生活と関連づけて考え表現することができる。	憲法の内容・戦後の世界の変化・高度経済成長による国民生活の変化について考え表現することができる。	ノート ワー ク定期考査
		主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	憲法の内容・戦後世界の動き・高度成長にともなう国民生活の変化について自分の身の回りの事柄と関連づけて発展的に考えることができる	憲法の元用・戦後の世界・高度成長に伴う国民生活の変化についてまとめ考えることができる。	授業観察 ノート ワー ク定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価規準【社会3年 公民的分野】

月	学習内容	評価規準	観点	評価基準		評価方法
				十分達成A	おおむね達成B	
4	第一章 現代の日本と世界 ・1節 現代社会の特色と私たち ・2節 私たちの生活と文化 ・3節 現代社会の見方や考え方	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	知識 ・技能	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 	ノートワーク定期考査
				思判表 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	<ul style="list-style-type: none"> 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度 ・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に社会に関わろうとしている。 	授業観察 ノートワーク定期考査
5 6	第二章 個人の尊厳と日本国憲法 ・1節 人権と日本国憲法 ・2節 人権と共生社会 ・3節 これからの人権保障	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に社会に関わろうとしている。 	知識 ・技能	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心とし、法の意義を理解している。 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 	ノートワーク定期考査
				思判表 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察し、表現している。	<ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察し、表現している。 	
			主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組む態度 ・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に社会に関わろうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に社会に関わろうとしている。 	授業観察 ノートワーク定期考査

7 9 10 11	第三章 現代の民主政治と社会 ・1節 現代の民主政治 ・2節 国の政治の仕組み ・3節 地方自治と私たち	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	<p>知識 ・ 技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 ・地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 	<p>・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 	ノート ワーク 定期考査	
11 12 1 2	第四章 私たちの暮らしと経済 ・1節 消費生活と市場経済 ・2節 生産と労働 ・3節 市場経済の仕組みと金融 ・4節 財政と国民の福祉 ・5節 これからの経済と社会	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 ・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	<p>知識 ・ 技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。 	<p>思 判 表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 	<p>・個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考察し、表現している。 ・国や地方公共団体が果たす役割について考察、構想し、表現している。 ・財政及び租税の役割について考察し、表現している。 	ノート ワーク 定期考査

2 3	<p>第五章 地球社会と私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1節 国際社会の仕組み ・2節 さまざまな国際問題 ・3節 これからの中華人民共和国と日本 <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>知識 ・ 技能</p>	<p>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。</p> <p>・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを日常生活の具体的なことがらと関連付けて十分理解している。</p>	<p>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。</p> <p>・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。</p>
			<p>思 判 表</p>	<p>・日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。</p>
			<p>主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度</p>	<p>世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>